

令和3年11月12日
松山河川国道事務所防災課**応急組立橋の架設訓練見学会を実施します**

～被災道路の迅速な応急復旧に備えたスキルアップ・技術継承～

松山河川国道事務所では、土砂災害や大地震等により道路橋や道路が崩落し通行できなくなった場合に早期の通行を確保するため、**数日間で架設が可能な応急組立橋**を保有しています。迅速な応急復旧に備えた運搬・架設のスキルアップや技術継承のための訓練を実施しており、その見学会を下記のとおり開催します。

1. 日時令和3年11月18日（木） 13:30～15:30頃**2. 場所・スケジュール**

場所：伊予市湊町206-7（伊予港埋立地内）

〈資料-1〉架設訓練実施場所位置図 及び 訓練スケジュール を参照ください。

3. 内容

応急組立橋の架設作業及び架設状況の説明、通行確認等を行います。

4. その他

当日は上記の時間帯に取材可能です。直接現地へお越しください。雨天決行です。ただし、大雨・大地震等の場合は中止します。

【参考】

～ 四国地方整備局における応急組立橋の保有状況 ～

四国地方整備局管内では、令和2年度末現在で計6橋を保有しており、そのうち松山河川国道事務所では1橋（1車線用・最大30m）を保有しています。

～ 四国地方整備局の応急組立橋の主な使用実績 ～

平成16年度 国道32号崩落（高知県長岡郡大豊町大久保）

平成10年度 国道32号崩落（高知県南国市才谷）

平成7年度 馬路村災害（高知県へ支援）

平成2年度 国道32号猪ノ鼻地区道路災害（徳島県三好市池田町）

平成元年度 国道55号東谷川災害（高知県安芸郡安田町）

昭和57年度 国道11号鞍瀬災害（愛媛県西条市丹原町）

昭和51年度 高知県・徳島県へ支援

昭和49年度 国道32号白地イタノ災害（徳島県三好市池田町）

〈資料-2〉 松山河川国道事務所保有の応急組立橋の概要

〈資料-3〉 過去の災害現場における架設状況写真（他事務所保有の応急組立橋）

※ 災害対策用機械の詳細については下記ホームページをご覧ください。

<http://www.skr.mlit.go.jp/yongi/duties/center/center-f.html>

※本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への『支国』防災力向上プロジェクト」に該当します。

問い合わせ先： 四国地方整備局松山河川国道事務所

副所長（道路）：中野 晴樹（内線：205）

◎ 防災課長：徳弘 健一（内線：281）

代表 089-972-0034

防災課直通 089-972-7289

FAX 089-972-0004

◎：主な問い合わせ先

架設訓練実施場所 位置図



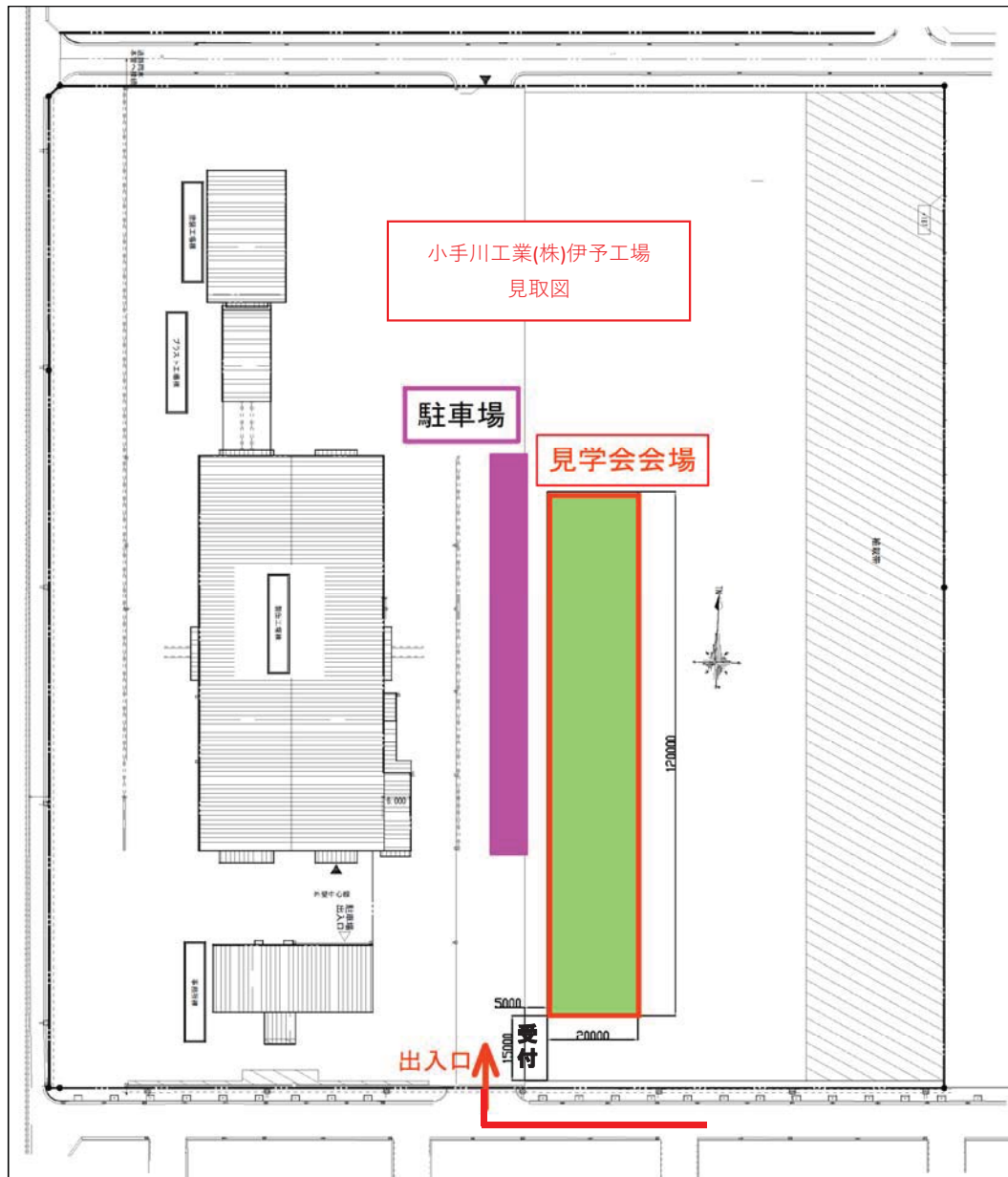
この地図はすべて国土地理院HPの地理院地図(電子国土Web)より抜粋し、加筆したものです。

訓練スケジュール(18日の予定)

※新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮して実施します。

- | | |
|--------|---------------------|
| 13:30 | 開会挨拶・架設方法等説明 |
| 14:00 | 相吊り架設作業開始 |
| 14:40 | 車道及び歩道パネル設置・仮スロープ設置 |
| 15:15 | 架設完了・通行確認 |
| 15:30 | 訓練終了・閉会挨拶 |
| ~16:00 | 自由見学 |
- (当日の作業進捗、天候等により多少前後する場合があります)

現地詳細図（駐車場所等）



お願い事項等

- 当日はマスクの着用もしくはフェイスシールド等の装着をお願いします。
- 現地に来られましたら上図の出入口から工場敷地へお入りください。
- 駐車場所へは誘導に従って徐行にて進入していただくようお願いします。
- 来場、駐車されましたら、テント内の受付へお進みください。
- 手指消毒用アルコールを用意しておりますので、適宜ご使用願います。
- 当日は応急組立橋以外の災害対策用機械も配置しますので、ご覧ください。
- 取材の場合は、対応者がおりますので、受付にてお申し出願います。
- トイレは社屋のトイレをご使用ください。
- 喫煙される方は、喫煙場所にてお願いいたします。



道路の異状を発見したら…

道路緊急
ダイヤル
(無料)

緊急
通報

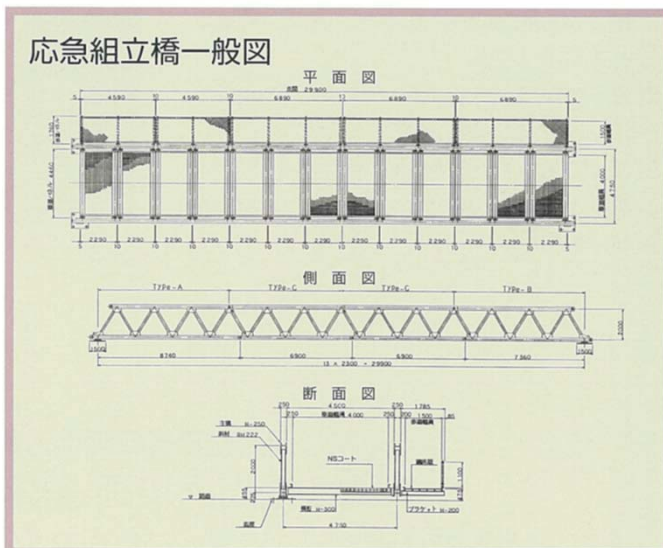
#9910へ

24時間
受付

応急組立橋の概要 (松山・05-1890)



形式：組立式下路トラス橋・1車線用
 橋格：1等橋（T-25）
 橋長：最大30.5m
 支間長：16.1m/23.0m/29.9m
 （今回は23.0mで架設）
 幅員：車道4.0m/歩道1.5m
 全幅：6.8m（歩道を含む）
 全高：2.48m
 地上高：0.5m（車道パネル上面）
 たわみ：L/400（L：支間長）
 接合：トラス→ピン接合/車道→落とし込み式
 表面：溶融亜鉛メッキ
 総重量：合計86t（23.0m引き出し架設工法）
 （車道46t/歩道4t/他架設材36t）
 適用：道路橋示方書
 製作：平成6年3月納入



特徴

- 大型トラックで輸送できるように、部材の寸法を長さ9.4m、幅2.43m以下重量を3t以内で分割設計しています（大型トレーラーが不要かつ特殊車両に該当しないため通行許可が不要）
- トラスはピン接合、車道パネルや歩道パネルは落とし込み式のため、組み立てが単純で効率的に行えます
- 主要部材をなるべく大型化しつつ、数は少なくして組み立ての効率化に寄与
- 架設箇所の長さに応じて支間長を3種類から選択可能
- 地耐力が十分でない区間の長さが最大26.85m以下の条件で架設可能
- 現場や重機の条件により架設方法を4種類から選択可能（今回は引き出し架設工法にて実施）
- 車両総重量25tまでの車両が通行可能（1車線用のため片側交互通行）

今回の架設訓練の概要

- ・大型のクレーンが設置できない狭隘な災害現場を想定し、崩落箇所手前の道路上で組み立て、台車とウインチにて崩落箇所へスライドさせる「引き出し架設工法」での訓練を実施します。
- ・引き出し後、クレーン2台で相吊りして設置します（見学時の開始作業）。
- ・設定した崩落箇所は少し掘削しブルーシートを張って「崩落箇所」として、立ち入らないようにして架設します。



引き出し用の仮トラスが取り付けられた応急組立橋

過去の災害現場における架設状況

～平成16年度・高知県長岡郡大豊町大久保（国道32号崩落災害）～
（今回の訓練とは異なる架設方法（面一括吊り工法）により架設しています）



道路崩落箇所状況



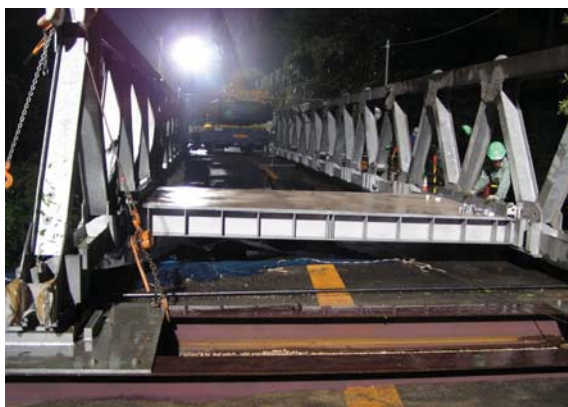
応急組立橋部材搬入



トラス組み立て



両側トラス架設



車道パネル設置



歩道パネル設置



架設完了



スロープ&外側線施工後通行開始